

令和5年度 加東市立三草小学校 学校経営方針

めざす子ども像

- 自ら学びともに考え行動できる子
- 豊かな心で自分も他者もともに大切にできる子
- 明るく健康でたくましくともに生きる子
- ～ 関わり合いを通して ～

加東市教育の基本方針

「人 間 力 の 育 成」

～ 豊かな学びが、新しい自分と地域を育むまち 加東 ～

社学園 小中一貫校校訓

「 自 律 」 「 寛 容 」 「 不 屈 」

学校教育目標

『 と も に 』

～ 心豊かで たくましい 三草っ子の育成 ～

めざす学校像

- 子どもたちが楽しく学べる安心・安全な学校
- 教職員が生き生きと教育活動ができる学校
- 保護者・地域から信頼される学校

めざす教職員像

- 教育の専門家としての自覚と使命感をもち、主体的に自己を高めともに働く教職員
- 明るく元気で、子どもや保護者の思いにともに寄り添うことができる教職員
- 高い倫理観と人権意識を持ち、他者とともに敬い合い、接することができる教職員

本年度の重点

- ☆ 「ともに」 互いに良さを認め合い、高め合う人間関係づくり
- ◎ 「学ぶ」 楽しい(よくわかり、深く考える)授業づくり
- ◎ 「豊かな心」 思いやりや優しい心の醸成と健康な体づくり
- ◎ 「たくましい」 児童の「将来の自立」にむけたキャリアづくり
- ◎ 義務教育9年間を見通した系統性と連続性のある学習・生活指導
- ◎ 地域に根ざし開かれた特色ある学校づくり
- ◎ 業務改善のさらなる推進による勤務時間の適正化

具体的な取り組み

- 互いに良さを認め合い、高め合う人間関係づくり
 - 集団学習体験を通して、支え合うことのできるつながりのある人間関係づくりを実施する。
 - なかよし遊びやなかよし給食、クラブ活動等の異学年交流を充実させる。
- 楽しい(よくわかり、深く考える)学びづくり
 - 授業内容の工夫改善
(子どもの「問い」から始まる課題の設定、対話のある授業、義務教育9年間を見通した系統性のある指導)
 - 基礎的・基本的な知識・技能の定着
(個に応じた指導、複数指導、スキルタイム・さわやかタイムの充実)
 - 探究的な見方・考え方を働かせる
(横断的・総合的な学習、問題解決的な活動、ふるさと学習「かとう学」の活用、STEAM化)
 - 学習等の習慣化
(家庭学習の段階的充実、読書活動の推進)
- 思いやりや優しい心の醸成と健康な体づくり
 - 道徳教育の充実
(道徳科の時間の充実、教育活動全体との関連)
 - 生活指導の充実
(生活指導委員会、各種アンケート調査、SCやSSWと連携した教育相談、ケース会議)
 - いじめ・不登校の未然防止
(児童観察、生命尊重を基盤とした道徳・人権教育)
 - 体力向上と健康・安全への意識醸成
(新体力テスト考察、健康教育、食育指導)
- 児童の「将来の自立」にむけたキャリア教育
 - 自己の生き方を考える道徳教育
 - 体験活動や自治的諸活動を通して、自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を考える。
- 主体性の発揮と達成感・成就感の体感
(自治的な活動や行事等での目標設定と振り返り)
- 安全対策とともにある安全教育と防災教育
(防災教育副読本・危機管理マニュアルの活用、実践的な体験学習)
- 義務教育9年間を見通した系統性と連続性のある学習・生活指導
 - 4・3・2のステージ制を導入することを念頭に社学園への移行を円滑に進める。
 - 一人一人の教育ニーズをきめ細やかに把握し、ライフステージの接続を適切に行う特別支援教育を推進する。
- 地域に根ざし開かれた特色ある学校づくり
 - ふるさと学習「かとう学」や茶園を活用した体験活動等を充実させ、地域の産業や人材から学ぶ。
 - 学校便りやホームページ等の広報活動を積極的にを行い、学校の取り組みや子どもの姿を地域と共有する。
- 危機管理を徹底した安全・安心な環境づくり
 - 安全点検、通学路安全プログラム等を実施し、最適な環境づくりを推進する。
 - 危機管理マニュアルの活用、感染症拡大防止対策、災害対策、事故対応を適切に実施する。
- 業務改善のさらなる推進による勤務時間の適正化
 - 学校業務内容を見直し、効率化を図ることで、子どもと向き合う時間を増加させる。
 - 定時退勤日を地域に周知し、働き方改革の確実な実施を進める。
 - ワークライフバランスを意識し、人として働くことの充実と私生活の充実の双方を実現する。